

鳴子ダム管理所 渇水対策支部の解除について

鳴子ダム流域では、この夏の小雨の影響で貯水率が低い状態が続いたことから、鳴子ダム管理所渇水対策支部を設置しておりましたが、9月11日からの大雨により貯水状況が回復しました。
このため、鳴子ダム管理所では、今後も江合川における必要な流量を確保し続けることが可能となったため、9月6日に設置した「渇水対策支部（注意体制）」を、本日16:00に解除します。
今後も下流河川の状況等について必要な情報収集を行うとともに、適切なダム管理に努めます。

1. 貯水状況について（9月13日14時現在）

	貯水位 (m)	貯水量 (千m3)	貯水率 (%)
平成22年9月13日	EL238.55	7,788	49%
過去10年間平均	EL238.26	7,425	46%

(参考資料①：グラフ1－鳴子ダム年間貯水位曲線)

2. 降水状況について（流域平均日雨量）

7月から8月にかけて鳴子ダム流域では小雨状態が続いておりましたが、9月11日から13日にかけて累加で113mmの降雨がありました。
また、仙台管区气象台の発表によると、東北地方の9月の長期予報は曇りや雨の日が多い予想です。また、9月から11月の東北地方太平洋側の降水量は、多い予想が30%~40%、平年並みが30%~40%と、平年並み程度の降雨があると予想されます。

	8月1日－31日	9月11日－13日	この3日と8月1ヶ月の比較
平成22年	138mm	113mm	この1ヶ月の82%の降雨量に相当
過去10ヶ年平均	233mm	181mm (9月1－30日)	10ヶ年平均の62%に相当

3. 鳴子ダム の 状況 について

鳴子ダムでは、ダム貯水率が13%と低くなり、貯水率の回復が見込まれないことから、9月6日より湧水対策支部（注意体制）を設置しておりました。

その後貯水率の低い状況が続きましたが、9月11日～13日の降雨により、13日14:00現在の貯水状況は、7,788,000m³（貯水率49%）と回復しております。

この貯水位の回復により、今後も鳴子ダム下流の江合川で必要となる流量を十分に補給し続けることが可能と判断しております。

発表記者会 ： 古川記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所 大崎市鳴子温泉字岩渕2-8 (TEL 0229-82-2341 代表) 管理所長 柏谷 稔 (内線 201) 管理係長 木村 康文 (内線 332)

鳴子ダム年間貯水位曲線

参考資料① グラフ1

有効貯水容量 35,000,000m³

